

参考-3 マンガによる小平市公共施設マネジメントの広報



小平市公共施設マネジメント
マンガパンフレット

小平市公共施設マネジメント
マンガ作品集



※マンガパンフレットは、無料で配布しています。
マンガ作品集は市政資料コーナー（市役所1階）
東部・西部出張所で販売しています。
詳しくは行政経営課まで、ご連絡ください。

参考－４ 小・中学校における出前授業

| 年 度 | 開 催 日 等 | 対 象 学 校 |
|----------|--|--------------------------------------|
| 平成 27 年度 | 平成 28 年 2 月 18 日 | 第十二小学校 6 年 1 組、2 組 (60 人) |
| | 平成 28 年 2 月 24 日 | 第九小学校 6 年生全体 (84 人) |
| 平成 28 年度 | 平成 28 年 11 月 16 日 平成 28 年 11 月 18 日 | 第一中学校 3 年 A 組、B 組、C 組、D 組 (142 人) |
| | 平成 28 年 12 月 19 日 | 第十二小学校 6 年 1 組、2 組 (69 人) |
| | 平成 28 年 12 月 21 日 | 第二小学校 6 年生全体 (86 人) |
| | 平成 29 年 2 月 4 日 | 第五小学校 6 年 1 組、2 組 (65 人) |
| | 平成 29 年 2 月 10 日 | 第十三小学校 6 年 1 組、2 組、3 組 (81 人) |
| | 平成 29 年 3 月 2 日 | 第十四小学校 6 年生全体 (60 人) |

小学校では「理想の学校を創ろう」、中学校では「これからも住み続けたい、小平のまちづくりを考える」のタイトルで実施しました。

児童・生徒は、公共施設を取り巻く状況などを理解し、学校施設を活用して地域の課題を解決するためのアイデアを考えました。

出前授業の詳細については、次ページ以降の「小平市公共施設マネジメント出前授業ニュース」をご覧ください。

小平市 公共施設マネジメント出前授業ニュース

平成27年度

【授業名】理想の学校を創ろう！

●小平第九小学校

開催日：平成28年2月24日(水曜)
学 級：6年1組、6年2組、6年3組
出席者：84人

●小平第十二小学校

開催日：平成28年2月18日(木曜)
学 級：6年1組、6年2組
出席者：60人

将来の人口減少、少子・高齢化など、公共施設を取り巻く環境が変化する中、市ではこれからの公共施設のあり方等について取組む公共施設マネジメントを推進しています。

公共施設マネジメントは長い期間で取組む内容であることから、これからの時代を担う子ども達に知ってもらうことを目的に、出前授業を行いました。



九小

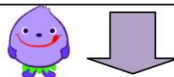


十二小

授業の概要

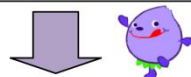
ステップ1 公共施設とは？

複数の公共施設の写真を映写し、クイズ形式で楽しみながら公共施設が身近に存在するを感じ、学校も公共施設のひとつであると知る。
学校とは何をするとところか意見を出し合い、学校も多様な性格があることについて気づく。



ステップ2 これからの課題

人口減少・少子高齢化など、これからの社会情勢の変化を知り、そのことに伴い考えられる“まちの活気の減少”や“高齢者が元気に過ごせる必要がある”などの「地域の課題」について考える。



ステップ3 検討・発表

「地域の課題」を解決でき、みんながハッピーになる『理想の学校』になるために、学校で何ができるか、また地域の人の希望をかなえるために何ができるかについてアイデアを考え、発表する。

■主なアイデア

- ・学校の図書室を市民全員が使える図書館にして、古い図書館を売る。
- ・学校の一部をスーパーマーケットや映画館にして、にぎわいをつくる。
- ・音楽室を開放して、高齢者のカラオケや趣味に使ってもらう。
- ・学校のイベントに地域の人たちを呼んで、交流の場を増やし、みんなで楽しむ。
- ・学校で子どもと高齢者が交流できる場やイベントをつくる。
- ・学校を合併して2校を1校にして、取り壊した学校の材料を売り、そのお金を古くなった公共施設の補修工事のために使う。
- ・学校を合併して、1校あたりの子どもの人数を増やす。
- ・花を植えて明るくしたり、掃除をきちんとしたりする。



■主な感想

- ・これからの課題がよくわかった。これからも公共施設を大切に使いたいと思った。
- ・いろいろなアイデアが出て、「いい案だ」と思うものがたくさんあった。
- ・私たちが考えたアイデアが実現したら未来の子どもたちにとっても良いことだと思う。
- ・小平市内の公共施設を知ることができ、また役割を知ることができて良かった。
- ・自分の住んでいるまちについて考えることができて良かった。
- ・全ての人の希望どおりにすることは難しいと思った。それでも、少しでも良くすることはできるから、小さなことから少しずつ行い、まちが良くなればいいなと思った。
- ・あまりアイデアが浮かばなかった。
- ・理想の学校を考えることは楽しかったが、実際に実現することは難しいと思う。



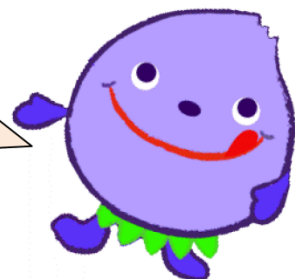
九小と十二小の皆さん、出前授業を受けていただきありがとうございました。

皆さんと一緒に、これからの公共施設について考えられたこと、とても有意義でした。

また、いろいろなアイデアがでてきて、驚きました。

これからも公共施設について関心を持ってくれたら嬉しいです。

また、みんなと会える日を楽しみにしています。



【お問合せ】

小平市 企画政策部 行政経営課

〒187-8701 小平市小川町2-1333

TEL 042-346-9756 FAX 042-346-9513

メールアドレス gyoseikeiei@city.kodaira.lg.jp

小平市公共施設マネジメント出前授業ニュース

平成 28 年度 VOL.1

【授業名】これからも住み続けたい！小平のまちづくりを考える。

●小平第一中学校

開催日：平成28年11月16日(水曜)、11月18日(金曜)

学 級：3年A組、3年B組、3年C組、3年D組

出席者：142人



将来の人口減少、少子・高齢化など、公共施設を取り巻く環境が変化する中、市ではこれからの公共施設のあり方等について取組む公共施設マネジメントを推進しています。

公共施設マネジメントは長い期間で取組む内容であることから、これからの時代を担う生徒達に知ってもらうことを目的に、出前授業を行いました。



授業の様子

授業の概要

ステップ1

地方自治について

国から独立した団体が、地域住民の意思に基づいて、教育や福祉など生活に身近な仕事を行うことが、地方自治であることを知る。地方公共団体である小平市に任せるということではなく、地域の住民が参加する姿勢が大切であることを学ぶ。

ステップ2

これからの課題

人口減少・少子高齢化、施設の老朽化、建替え時期の集中、財政バランスの悪化を受け、これらの課題に対応する公共施設マネジメントについて知る。公共施設マネジメントについて、他市の事例を紹介し、イメージを持つ。

ステップ3

検討・発表

将来の課題に対し、生徒自身も地方自治の担い手であることや、小平市に住み続けたいと思える魅力を創出することを念頭に、「学校」という公共施設で何かできないかを考え、発表する。

裏面につづく



主なアイデア



- 学校に図書館、公民館、保育園など、他の公共施設を複合化させることで、財政的な負担を軽減する。
- 学校が使用していない時間帯の教室、体育館、プール、屋上などを地域に開放して、施設を有効活用する。また、民間企業に貸し出して、賃貸料を得る。
- 部活動の指導を高齢者や地域の人をお願いすることや、お祭りやフリーマーケットなど学校を活用し、地域の方と一緒にイベントを行うことで、地域との交流を促進する。
- 新しい校舎へ建替える際に、バリアフリーにし、生徒が減ってきた時に老人ホームに転用することができるようにしておく。
- 学校の壁などのペンキの塗り替えをイベントにして、地域の方と一緒にやる。



主な感想



- 私たちが住んでいく「まち」について、全てを行政などに任せるのではなく、自分たち自身でつくっていくことが重要だと思った。今後の未来は自分たちにかかっているのだと感じた。
- 今抱えている課題は、簡単には解決できないけれど、一人一人が考えれば時間が経っても解決できると思った。
- 小平市の将来にもいろいろな課題があることを知った。自分の将来ばかりを気にしがちだが、「まち」の将来が明るくないと私たちも大変だなと思った。
- 公共施設についてよく知らなかったけれど、知ることができ、さらに学校という施設で何ができるかを考えることが面白かった。
- 出前授業を通じて、実際に市役所で仕事をしている方のお話を聞くと、説得力があって良かった。
- 地方自治についてよく理解できた。この授業で考えたアイデアが、小平市に採用されるかどうか気になった。

一中の皆さん、どうもありがとうございました。
皆さんと一緒にこれからの公共施設について考えることができ、とても有意義でした。



【お問合せ】

小平市 企画政策部 行政経営課

〒187-8701 小平市小川町2-1333

TEL 042-346-9756 FAX042-346-9513

メールアドレス gyoseikeiei@city.kodaira.lg.jp

小平市公共施設マネジメント出前授業ニュース

平成28年度 VOL.2



【授業名】理想の学校を創ろう！



●小平第十二小学校

開催日：平成28年12月19日(月曜)

学級：6年1組、6年2組

出席者：69人

●小平第二小学校

開催日：平成28年12月21日(水曜)

学級：6年1組、6年2組、6年3組

出席者：86人

将来の人口減少、少子・高齢化など、公共施設を取り巻く環境が変化する中、市ではこれからの公共施設のあり方等について取組む公共施設マネジメントを推進しています。

公共施設マネジメントは長い期間で取組む内容であることから、これからの時代を担う児童に知ってもらうことを目的に、小学校で出前授業を行いました。



授業の概要



ステップ1

公共施設とは？

複数の公共施設の写真を映写し、クイズ形式で楽しみながら公共施設が身近に存在することを感じ、学校も公共施設のひとつであることを知る。
学校とは何をするとところか意見を出し合い、学校も多様な性格があることについて気づく。



ステップ2

これからの課題

人口減少・少子高齢化など、これからの社会情勢の変化を知り、そのことに伴い考えられる“まちの活気の減少”や“高齢者が元気に過ごせる必要がある”などの「地域の課題」について考える。



ステップ3

検討・発表

「地域の課題」を解決できるような学校とはどのような学校か。学校で何ができるか、また地域の人の希望をかなえるために何ができるかについてアイデアを考え、発表する。



主なアイデア



- ・学校と保育園を合体させて、小さい子の面倒を高学年が見て保育士が減っている分を補う。また、保育園の保護者が小学生の保護者から子育てのアドバイスをもらう。
- ・図書館をリフォームしてカフェと公民館をくっつける。小・中・高校をくっつける。
- ・学校を開放する。校舎、校庭、体育館、プールを開放する。学校が使用していない時間に図書室で塾を開く。また、放課後の時間帯に、大人も勉強できるようにする。
- ・ランチルームを食堂として開放して、地域の人と給食を食べる会を開く。
- ・学校に遊ぶところ、高齢者施設、購買ができる場などいろいろなものを取り入れる。
- ・古くなった学校にお店やホテルを入れたり、マンションなどの住まいとくっつける。
- ・学校の屋上を有効活用し、屋上に神社を作る。
- ・学校で行事やイベントを行い、地域の人や高齢者と交流する。（お祭り、フリーマーケット、地域運動会、演奏会、学芸会、作品展など）
- ・昔遊びなどができる高齢者交流室をPRする。
- ・公共施設を建て替えるための募金をする。
- ・老朽化した建物を壊したときの鉄や金属を新しい建物に使うなど、お金を節約する。
- ・学校をきれいに使う。今ある学校を出来るだけ長く保つように利用する。



主な感想



- ・子どもたちだけでなく、大人やみんなが使える学校にしたい。
- ・公共施設についてもっと深く知りたいな、と興味を持った。
- ・まちの問題はなんとなく知っていたけれど、具体的に考えたことがなかったから面白かった。お金の問題は初めて知った。
- ・今日のアイデアが実現すればいいなと思った。
- ・今日学んだことをいかして小平市に貢献していきたい。
- ・地域の様々な問題を解決するには、私たち市民が解決できるように公共施設について考えたりすることが大切だと思った。また、そのために自分も考えようと思った。
- ・いろいろなアイデアで公共施設をパワーアップさせたら、私たちが高齢者になっても楽しいまちだと思う。これからの将来は私たちにかかっているのだから、よりよい未来になるように頑張りたい。
- ・少子高齢化を知り、自分たちが行動すれば未来が変わると思うと、楽しみなような、こわいような、いろいろな気持ちになった。自分たちが知り、実行するという事は大切なことだと知った。

皆さん、どうもありがとうございました。

皆さんと一緒にこれからの公共施設について考えることができ、とても有意義でした。これからも公共施設を大切に使う、これを機に公共施設に関心をもってくれたらうれしいです。



【お問合せ】 小平市 企画政策部 行政経営課

〒187-8701 小平市小川町 2-1333 TEL042-346-9756 FAX042-346-9513

メールアドレス gyoseikeiei@city.kodaira.lg.jp

小平市公共施設マネジメント出前授業ニュース

平成 28 年度 VOL.3

【授業名】理想の学校を創ろう！

●小平第五小学校

開催日：平成29年2月4日(土曜)

学 級：6年1組、6年2組

出席者：65人

●小平第十四小学校

開催日：平成29年3月2日(木曜)

学 級：6年1組、6年2組

出席者：60人

●小平第十三小学校

開催日：平成29年2月10日(金曜)

学 級：6年1組、6年2組、6年3組

出席者：81人

これからの小平市のこと。
みんなと一緒に考えていき
たいです！



将来の人口減少、少子・高齢化など、公共施設を取り巻く環境が変化する中、市ではこれからの公共施設のあり方等について取り組む公共施設マネジメントを推進しています。

公共施設マネジメントは長い期間で取り組む内容であることから、これからの時代を担う児童に知ってもらうことを目的に、小学校で出前授業を行いました。



五小



十三小



十四小

授業の概要

ステップ1

公共施設とは？

複数の公共施設の写真を映写し、クイズ形式で楽しみながら公共施設が身近に存在するを感じ、学校も公共施設のひとつであると知る。
学校とは何をするとところか意見を出し合い、学校も多様な性格があることについて気づく。

ステップ2

これからの課題

人口減少・少子高齢化など、これからの社会情勢の変化を知り、そのことに伴い考えられる“まちの活気の減少”や“高齢者が元気に過ごせる必要がある”などの「地域の課題」について考える。

ステップ3

検討・発表

「地域の課題」を解決できるような学校とはどのような学校か。学校で何ができるか、また地域の人の希望をかなえるために何ができるかについてアイデアを考え、発表する。



主なアイデア



- ・他の学校と合併し、空いた学校を保育園や公民館などの公共施設として活用する。また、学校を取り壊す場合は、リサイクルの観点から、使わなくなった机などを家庭に寄付する等を行う。
- ・古い公共施設を合体して、新しい1つの公共施設にする。古い公共施設を売り、売ったお金を新しい公共施設を建設するために使う。
- ・費用を抑えるため、建物の特に古い部分のみを修理する。また、大工さんと市民と一緒に公共施設を作るなどする。
- ・学校の保健室を病院の機能として活用し、誰でも利用できるようにする。
- ・学校の図書室を地域の人達に開放して、利用できるようにする。
- ・地域の活気づくりのために、校庭を活用してバザーを開催する。
- ・学校の休みの日に、家庭科室を使って料理教室を開催する。
- ・プールについて、授業のない日は地域の人たちに開放し、利用してもらう。



主な感想



- ・小平市について深く考えることができて良かった。あまりいつも話さない小平市のことをみんなで話せてよかった。
- ・教科書で学ぶだけでは、少子高齢化などは多少他人事を感じがするが、今回は本当に将来、自分達が直面する問題として、向きあえてよかった。
- ・公共施設に対する考えが変わりました。これからは公共施設を大切にしようと思った。
- ・状況を改善するために、どのようなことができるか、もっと考えるべきだなと思った。
- ・いろんな問題を抱えている中、自分たちも学校を通じて出来ることがたくさんあることを知って、未来を明るくするためにも身近なことから解決していけば良いのだと思った。
- ・これからの小平市は、市役所の方々だけではなく、市民どうしで協力しあっていくことが大切だと思った。これからは、自分たちの力でできることがないかを考え、できることがあればやろうと思った。
- ・公共施設を利用して、いろいろな楽しみや面白さを知っていきたい。自分たちが住むまちに、まだ気づいていない楽しみがあるのだなと思った。

皆さん、どうもありがとうございました。

皆さんと一緒にこれからの公共施設について考えることができて、とても有意義でした。これからも公共施設を大切に使う、これを機に公共施設に関心をもってくれたらうれしいです。



【お問い合わせ】 小平市 企画政策部 行政経営課

〒187-8701 小平市小川町2-1333 TEL.042-346-9756 FAX042-346-9513

メールアドレス gyoseikeiei@city.kodaira.lg.jp